

市民アンケートの概要

①調査目的

まちづくりや観光施策などの土台となる松江の歴史・伝統・文化を深堀し、本市の施策に反映させるために、市民の意識やニーズを把握するため、アンケート調査を実施した。

②調査期間

令和2年4月8日(水)～4月24日(金)

③調査方法及び回収状況

無作為に抽出した18歳以上の市民2,700人(男性:1,289人、女性1,421人)に郵送。792件の回収があった。うち、有効回答数は791件であり、有効回答率は29.3%であった。

④調査結果の概要

市民の文化的な体験や活動

市民の約6割が文化的な体験や活動に関心があるものの、約5割の市民が「活動したことはない」と回答し、さらに「過去に活動していたが、今はやっていない」と回答した市民も2割近くにのぼった。現在行っている文化活動では、生活文化(華道、茶道、書道、盆栽など)を行っている人が多かった。

「松江らしさ」としての文化の魅力

松江のイメージとしては、「美しい景観・町並み」があり「自然が豊か」であり、「歴史や伝統を感じられる」まちであると6割以上が回答した。

具体的なイメージは、シンボルとしての松江城やその周辺の掘割、塩見縄手があり、宍道湖をめぐる夕日や水の都としての自然景観、そして日常的には茶の湯の文化が根付き、鑿行列やホーランエンヤをはじめとした各地での伝統行催事が市民の誇りとして認識されている。

松江が文化的なまちであるために必要なこと

松江が文化的なまちであるために必要なことは、「伝統的な文化が大切にされ、継承されていること」と6割以上が回答し、最も多い。次いで、5割近くが「身近に自然・歴史が感じられ、市民が大切にしていること」「子どもが文化に触れ、心豊かに成長すること」と回答している。このことから、文化を大切にし、その担い手に関わる「人」が注目される結果となった。

松江の芸術文化を守り・育てるための課題と対策

【満足度】芸術文化に関する市民の活動に関しては、比較的満足感が得られている。一方で、一流の作家やアーティストに触れたり、その担い手となる活動の機会や人材、そのための資金、及び地域外への情報発信については満足度が低い。

【重要度】特に子どもたちに向けて質の高い文化に触れる機会が重要と捉えられている。また、地域外、海外への松江市の文化の発信についても重要度が高い。

【市民ニーズ】特に子どもたちに向けて、質の高い文化に触れることに対するニーズが高い。また、地域外、海外への松江市の文化の発信へのニーズが高い。市民が芸術文化に触れる機会や地域や学校との連携など、日常的な芸術文化活動に関しては、今後とも現状を維持していくことが求められている。芸術文化の担い手支援(活動資金、活動の場、人材)について、今後の対策が求められている。

【年代別分析】「重点改善分野」「重点維持分野」「維持分野」「改善分野」の項目分布については、年代別に大きな差はなく、いずれも①子どもたちが芸術文化に触れる機会②地域外、海外への松江市の文化の情報発信③一流の作家やアーティストに触れる機会へのニーズが高くなっている。

全体として、満足度の平均値が高いのは20代、30代、40代及び70代であり、どちらかというと若い世代の方が満足度が高い傾向にある。重要度についても、20代と40代の平均値が高く、今後の文化のあり方について関心が高いことが伺える。

松江の歴史文化を守り・育てるための課題と対策

【満足度】文化財や町並みの保存・整備については、突出して高い満足度が得られている。市民の歴史文化活動についても、一定の満足度が得られている。一方で、伝統工芸の継承や祭事・民俗芸能の伝承に関する項目では満足度が低くなっている。また、国内外への情報発信についても満足度が低い。

【重要度】文化財や町並みの保存・整備は、極めて重要であると捉えられている。伝統工芸の継承や祭事・民俗芸能の伝承に関する項目では重要度が高くなっている。また、観光など産業活動への活用についても重要であると捉えられている。

【市民ニーズ】文化財や町並みの保存・整備については、引き続き、市民の高い期待がある。伝統工芸の継承や祭事・民俗芸能の伝承に関しては、重要な課題として捉えられており、今後の対策が求められている。また、観光など産業活動への活用についても今後の対策が求められている。

【年代別分析】いずれの年代においても、満足度、重要度とも、項目においてほぼ同様の結果となっている。つまり、「文化財や町並みの保存・整備」が突出して満足度が高く、かつ重要度も高い。

①伝統工芸における担い手の確保や育成(技術伝承)②祭事、民俗芸能の担い手の確保や育成③伝統工芸における職人や工房や店舗などの充実・存続④祭事、民俗芸能の伝承(資金・設備など)が、重要度が高いにも関わらず低い満足度にとどまっており、つまり、市民ニーズが高い項目である。

「観光など産業活動への活用」についても重要視されているが、一定の満足を得ている結果となった。

年代別の満足度の平均値は、20代、30代、40代が高く、比較的若い年代が満足している。一方重要度は、年代別で目立った差はないが、60代、70代の重要度平均値が比較的低くなっている。